

観音

令和6年(2024)
第58号

発行
 広島新四国八十八ヶ所霊場
 第三十二番札所
 「当山開基壹千三百年前」
 〈観世音菩薩祈願所〉
 真言宗 正観寺
 箱島山 慈眼院
 小出 真行
 小出 真弘
 吉田 真覚

良工は先ずその刀を利くす、
 能書は必ず好筆を用う
 『性霊集』

道具を研ぐとは、ときどき足を止めて「自分を磨き、高める時間」を持つということ。
 ただやみくもに進むより、その貴重な時間が成功に導くのです。「道具も自分も磨く時間を大切に」

お大師さまと共に



総本山善通寺参拝 (R5. 4. 25~26 総勢 100名超)

昨年、令和五年四月二十五日(火)二十六日(水)に、総本山善通寺大法会に参拝して参りました。正観寺も所属しております広島県真言宗教団(広島県下にある真言宗寺院約二十ヶ寺)、ご寺院さま檀信徒さま百名超でお参りして参りました。沢山の団体参拝が一同にお集まりになったのは、七年前に高野山開創千二百年記念大法会に参拝(百三十名弱)して以来です。この度は、宗祖弘法大師御誕生千二百五十年の記念大法会となりました。

千二百五十年前、真魚少年がお生まれになったのは、讃岐の国善通寺、やがて海を越えて唐に渡り、真言密教の正統後継者となり、日本にその教えを持ち帰られました。それから千二百年の月日が過ぎようとも、いまでも「お大師さま」の名前で多くの人に信仰、帰依を集めています。時代が変わっても変わらないもの「人々のこころ」を軸として、高野山・四国遍路・日本中にある霊場を中心に「同行二人」として未来永劫、お大師さま信仰は続いていくと確信してい

ます。一層、我々僧侶もお大師さまが残された教えや教典を、後世に引き継いでいかないといけない使命感に駆られています。記念大法会に出仕させていただいて、お大師さまの結んで下さったご縁に感謝し、また正観寺の檀信徒の皆さまに、正しい教化ができますように精進していく所存でございます。

WBC前監督、栗山英樹氏も高野山に足を運ばれました。お大師さまの根本唯一の目的は、人々を幸せに導くこと、宗旨、身分、人種、生物、無生物を問わず、宇宙に存在するものすべては、大日如来の顕れであるとした教えの実践が世界平和につながり、混沌とした時代だからこそ必要であると、共感されていきました。

令和六年四月二十八日(日)二十九日(月)に、高野山参拝(御逮夜、旧正御影供法要)を予定しています。是非、この機会に聖地高野山にお大師さまを感じに足を運んでみませんか。心よりお待ち申し上げております。

ありがたや たかののやまの いわかげに だいしはいまだ おはしますなる

除夜の鐘の回数(百八回)の由来

日本中どのお寺でも行う除夜の鐘。日本中、除夜の鐘の回数は、概ね百八回。ではどうして百八回なのでしょう？いろいろな説がありますが、三つ程ご説明いたします。

①人間には、元より百八の煩惱がある説。多くの正式な数珠も百八個の玉が基本であり、除夜の鐘を打つと同等に、百八煩惱を断ち切るという意味があります。又「煩惱即菩提」といい、真言宗の教えによると、煩惱とは迷いのことで、菩提とは悟りのことで、迷いがそのまま悟りになる、煩惱や欲望が生きるエネルギーに変わると言い伝えられています。真言宗では護摩を焚き、煩惱を仏さまの火を通して智慧に変わらせる供養を行います。

②十二月・二十四節気(一年を二十四の季節に分けたもの)・七十二候(二十四節気をさらに三つに分けたもの)を足すと百八となり、一年で百八を表すという説。

③人間にはだれひとり避けて通ることのできない、四字熟語にもなっている四苦(四×九)と八苦(八×九)を足すと百八になり、四苦八苦の苦しみを取り除くという説。

「四苦」

生苦…生まれる苦しみ
老苦…老いる苦しみ
病苦…病気になる苦しみ
死苦…死ぬ苦しみ

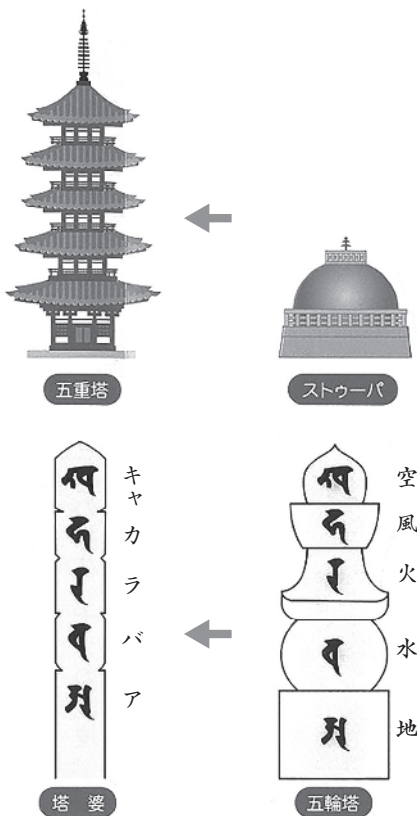
「八苦」

愛別離苦…愛する人と別れる苦しみ
怨憎会苦…怨み、憎む人と出会う苦しみ
求不得苦…求めるものが手に入らない苦しみ
五蘊盛苦…人の体や身体を形成している、感覚や欲求、意識からくる全ての苦しみ

お寺は、「仏さまからの宿題」を解くための心の学校です。お参りして心の洗濯をし、心の豊かさを育んでもらえたら幸いに存じます。

卒塔婆

卒塔婆は略して、別名「塔婆」ともいい、仏塔のことを意味します。一般的には追善供養のために建立し、お墓の後ろに立てます。追善供養というのは、葬送・年忌法要・納骨・盆や彼岸などで、施主を中心に、ご縁があった方々が亡くなった人を弔い、冥福を祈り、成仏を願うために行う供養のことで、仏塔とは、仏舍利(お釈迦さまの遺骨)を納めた塔のことです。仏塔を簡略化したものである卒塔婆には、五輪塔などと同じく仏教の宇宙観である五大(空・風・火・水・地)が表されています。なお、言葉の語源は、古代インドのサンクスリット語「ストウーパ」という言葉を、漢語(中国語)で音写したものです。正観寺でも、年忌法要(ご法事)の際や、地藏祭りで行う施餓鬼供養の際に塔婆を浄書し、檀信徒の皆さまと共に追善供養をさせていただきます。



守り本尊ほんぞん

人はそれぞれの生まれ年の干支によって、自身を守ってくれる仏さまがごございます。その仏さまを守り本尊といいます。干支によって決められている守り本尊は、それぞれに役割を持ち、その人を一生守ってくださいます。厄除けや開運の守護仏として、古来より人々に信仰されてきました。檀信徒の皆さまも、自分の守り本尊をご確認いただき、ご加護をお受けください。

子	せんじゅかんのおんぼつ 千手観音菩薩
丑寅	こくうぞうぼつ 虚空蔵菩薩
卯	もんじゅぼつ 文殊菩薩
辰巳	ふげんぼつ 普賢菩薩
午	せいしぼつ 勢至菩薩
未申	だいにちようらい 大日如来
酉	ふどうみょうおう 不動明王
戌亥	あみだにようらい 阿弥陀如来



暑さ寒さも彼岸まで

残暑は秋の彼岸までに治まり、余寒は春の彼岸までに和らぐので、それ以降は過ぎやすくなるという言い慣わしであり、「どのような困難な事態であっても、やがては終わりが来て乗り越えることができます」という意味も込められています。

又、春の彼岸・秋の彼岸には墓参り等に出向き、「ご先祖さま」・「自然」に感謝をしてみましょう。お彼岸は改めて、ご縁の大切さを再認識し、ご自身を見つめ直す良い機会となっています。皆さまに良いお彼岸を過ごさせて頂きましたら幸いに存じます。

「境内地墓地」「本堂 納骨堂」「永代供養塔」について



◎境内地墓地 本堂納骨堂 永代供養塔 空さがごございます。
新たに、本堂裏（右側）に、納骨堂の増設をしました。

↑NEW（納骨堂増設）

—新元号「令和」記念— 「やすらぎ観音さま」の ご奉納について

「やすらぎ観音さま」のご守護を頂戴し、日々の安心の糧にしてみたいかがでしょうか。

本堂内にご奉納されても、仏さまをお持ち帰られて、各ご家庭でお祀り頂いても結構です。

台座の記載はいかようにも対応致します。

現在、約八十体弱のご奉納を頂いています。まだまだ数に余裕がございます。



令和六年度 年間行事予定表

六		五		四		三		二		一	
	十八	十八	一〇三十一	十四	一〇三十一	十七	中旬		三	十八	一〇三十一
	観音ご縁日 <small>(青葉祭り 弘法大師降誕会)</small>	観音ご縁日	十三詣り	観音大祭 <small>(ご本尊供・大柴燈護摩供法要 火生三昧火渡り・福餅まき)</small>	十三詣り	春季彼岸会・永代合同供養祭	春季彼岸お参り		星祭り <small>(星供養節分会／北斗護摩祈祷)</small>	初観音ご縁日	修正会(初護摩祈祷)
十二		十一		十		九		八		七	
	十八	十八	一〇三十一	十三	一〇三十一	二十一	中旬		十五	上旬	十八
	年越祭(除夜の鐘)	納観音ご縁日	七五三祝禱	地藏祭り <small>(演劇会・護摩供法要 施餓鬼供養・きゅうり加持祈祷)</small>	七五三祝禱	秋季彼岸会・永代合同供養祭	秋季彼岸お参り		盆お参り 孟蘭盆会・永代合同供養祭 <small>うらぼんえ</small>		霊峰石鏡山参拝(お山開き大祭)


《月例行事予定表》(変則的、要確認)

- 一、御本尊「聖観世音菩薩」ご縁日
 「諸供養・諸祈願(護摩祈祷)・昼食(弁当)お接待有」
 ◎毎月 十八日 午前十時半
 十八日が日曜・祭日の場合
 お大師さん「弘法大師」ご縁日
 二十一日 午前十時半
- 二、般若心経 写経教室 月一回程度(不定期)
- 三、高野山金剛流御詠歌教室 月二回程度(不定期)
 平日昼間 午後十三時〜十五時

一、四月二十八日(日)〜二十九日(月) 一泊二日
 『高野山参拝』費用四〇、〇〇〇円予定
 二、七月七日(日)〜八日(月) 一泊二日
 『石鏡山参拝』費用三五、〇〇〇円予定

《随時受付中(宗派不問)》
 詳細はお寺までお問い合わせください。
 境内地墓地・本堂納骨堂・永代供養塔
 水子納骨堂・水子地藏尊・やすらぎ観音
 正観寺会館(葬儀会場)／(仏前結婚式会場)
 先祖供養・水子供養・永代供養
 護摩祈祷・厄除け・お焚き上げ・諸祈願・仏事全般等々
 随時本四国八十八ヶ所霊場お砂踏み可

〒735-0029 広島県安芸郡府中町茂陰二丁目二一八―四
 TEL 〇八二―二八二―五五六六二
 FAX 〇八二―二八五―五五三〇
 E-mail: info@shokanji.com

「広島 正観寺」検索 

○新大州橋・イオンモール広島府中(旧ソレイユ)近く
 ◎広島高速二号线
 府中出入口(温品JCT方面出入口のみ)下車二分
 大州出入口(仁保JCT方面出入口のみ)下車二分
 ◇JR天神川駅下車徒歩七分
 ◇バス停「新大州橋」府中大橋「下車徒歩三分
 (駐車場有り) 正観寺